

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第39週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (39週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 2 例。3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 2 例。
- 4 類感染症：レジオネラ症 1 例。
- 5 類感染症：劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例、侵襲性肺炎球菌感染症 1 例、梅毒 1 例、百日咳 5 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等	
2類	結核	都城	80歳代	男	腸結核	下血、腹痛	
		高鍋	20歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱	
3類	腸管出血性大腸菌感染症	高鍋	10歳代	男	無症状病原体保有者	O-128(VT1、2)	
			10歳代	女	無症状病原体保有者	O-91(VT1)	
4類	レジオネラ症	小林	80歳代	女	肺炎型	咳嗽、肺炎、倦怠感、食欲低下	
5類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	宮崎市	80歳代	女	—	ショック、全身性紅斑性発疹、中枢神経症状	
	侵襲性肺炎球菌感染症	宮崎市	60歳代	男	—	発熱、胆管炎	
	梅毒	都城	20歳代	女	早期顕症梅毒(Ⅱ期)	梅毒性パラ疹	
	百日咳	宮崎市	0~4歳	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み	
			5~9歳	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み	
			都城	5~9歳	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み
			高鍋	5~9歳	男	—	持続する咳
中央	10歳代	女	—	持続する咳			

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は577人(定点当たり16.7)で、前週比75%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は手足口病で、減少した主な疾患はインフルエンザとRSウイルス感染症及びヘルパンギーナであった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【インフルエンザ】

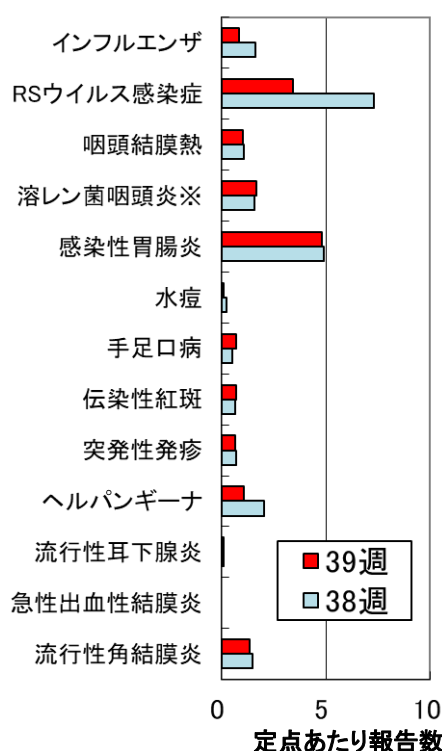
報告数は51人(0.86)で、前週比53%と減少したが、例年同時期の定点当たり平均値*(0.06)の約14.3倍である。小林(4.2)、都城(1.4)、中央(1.0)保健所からの報告が多く、年齢群別では10歳未満が全体の約半数を占めた。

【RSウイルス感染症】

報告数は124人(3.4)で、前週比47%と減少したが、例年同時期の定点当たり平均値*(3.2)の約1.1倍である。中央(9.0)、高鍋(5.5)、都城(4.8)保健所からの報告が多く、年齢群別では1歳以下が全体の約8割を占めた。

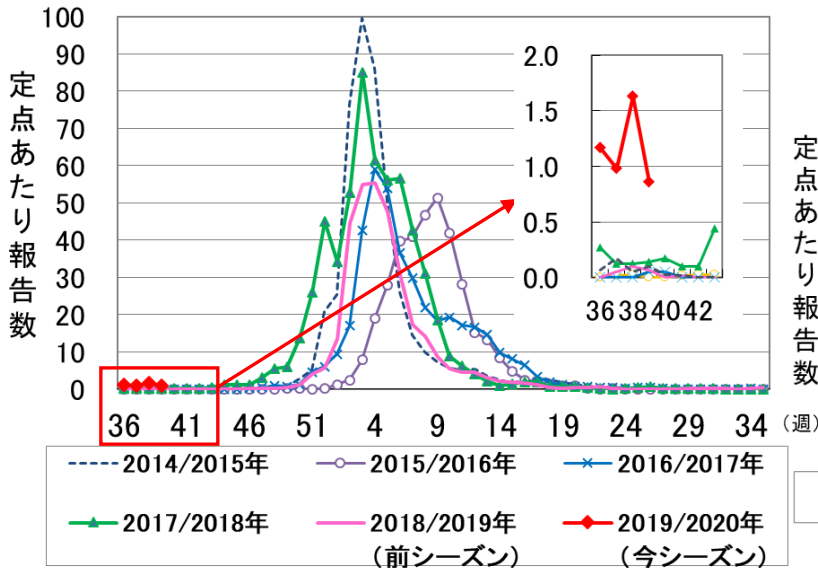
* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

《前週との比較》

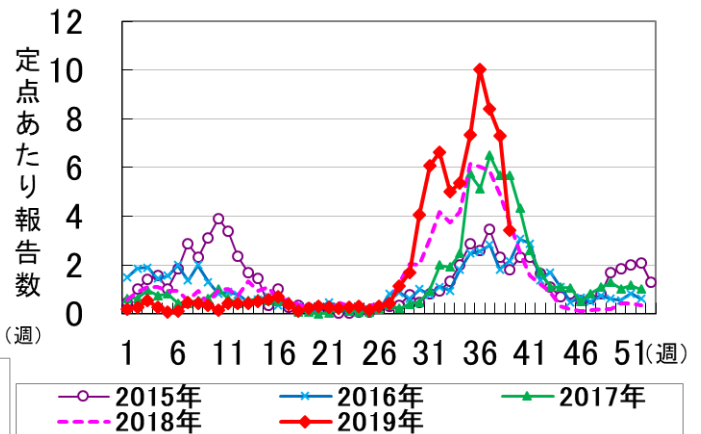


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

インフルエンザ 発生状況



RSウイルス感染症 発生状況



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：日向保健所から1例報告があり、10歳代であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	伝染性紅斑(2.3)
日南	なし
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	水痘(1.0)
日向	なし
中央	咽頭結膜熱(5.0)

* 流行警報レベル開始基準値 *

- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・伝染性紅斑(2.0)

* 流行注意報レベル基準値 *

- ・水痘(1.0)

全国 2019 年第 38 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 38 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	311 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	67 例	腸チフス	3 例
	E型肝炎	3 例	A型肝炎	9 例	重症熱性血小板減少症候群	5 例
4類感染症	チクングニア熱	2 例	デング熱	12 例	日本紅斑熱	13 例
	日本脳炎	1 例	マラリア	1 例	類鼻疽	1 例
	レジオネラ症	55 例	レプトスピラ症	1 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	11 例	ウイルス性肝炎	6 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	34 例
	急性脳炎	5 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4 例
	後天性免疫不全症候群	12 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	7 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	19 例	水痘（入院例）	5 例	梅毒	59 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	218 例	風しん	6 例
	麻しん	8 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 85%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は水痘とマイコプラズマ肺炎で、減少した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナであった。

インフルエンザの報告数は5,716人(1.2)で前週比99%とほぼ横ばいであったが、例年同時期の定点当たり平均値*(0.12)の約9.7倍である。沖縄県(52.2)、佐賀県(2.0)、福岡県、宮崎県(各1.6)からの報告が多く、年齢群別では10歳未満が全体の約半数を占めている。

* 過去5年間の当該週、前週後週(計15週)の平均値

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2019年 第39週(09月23日～09月29日)

疾病名		第38週	第39週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	96	51	7	14	4		21	2		1	2
	定点当り	1.63	0.86	0.44	1.40	0.57	0.00	4.20	0.33	0.00	0.17	1.00
RSウイルス 感染症	報告数	263	124	28	29	12	9	3	22		12	9
	定点当り	7.31	3.44	2.80	4.83	3.00	3.00	1.00	5.50	0.00	3.00	9.00
咽頭結膜熱	報告数	39	37	12	12		7		1			5
	定点当り	1.08	1.03	1.20	2.00	0.00	2.33	0.00	0.25	0.00	0.00	5.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	56	61	8	13	8	12	4	4		7	5
	定点当り	1.56	1.69	0.80	2.17	2.00	4.00	1.33	1.00	0.00	1.75	5.00
感染性胃腸炎	報告数	176	174	38	38	10	15	22	13	7	26	5
	定点当り	4.89	4.83	3.80	6.33	2.50	5.00	7.33	3.25	7.00	6.50	5.00
水痘	報告数	9	4			1	1		1	1		
	定点当り	0.25	0.11	0.00	0.00	0.25	0.33	0.00	0.25	1.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	19	26	5	3	13	1				4	
	定点当り	0.53	0.72	0.50	0.50	3.25	0.33	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	24	26	9	6	9	1				1	
	定点当り	0.67	0.72	0.90	1.00	2.25	0.33	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
突発性発しん	報告数	25	24	5	5	5	1	5			3	
	定点当り	0.69	0.67	0.50	0.83	1.25	0.33	1.67	0.00	0.00	0.75	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	74	38	12		12	9	3	2			
	定点当り	2.06	1.06	1.20	0.00	3.00	3.00	1.00	0.50	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	3	3			3						
	定点当り	0.08	0.08	0.00	0.00	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	9	8	6	2							
	定点当り	1.50	1.33	2.00	1.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ 肺炎	報告数		1									1
	定点当り	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2019年第1週～39週)

2類感染症	結核	160例(2)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	37例(2)	腸チフス	1例
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	2例
	チクングニア熱	1例	つつが虫病	3例
	日本紅斑熱	4例	レジオネラ症	8例(1)
5類感染症	アメーバ赤痢	3例	ウイルス性肝炎	3例
	急性弛緩性麻痺	1例	急性脳炎	4例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	10例(1)	後天性免疫不全症候群	2例
	水痘(入院例)	1例	梅毒	17例(1)
	破傷風	1例	百日咳	237例(5)
	麻しん	1例		

()内は今週届出分、再掲